

二官能 C2 ユニットの開発

Development of Bisfunctionalized C2 Unit

1160263 安岡杏紗

Azusa Yasuoka

ニトロピリミジノン環内の電子密度が低いものの、若干の芳香族性を示すために反応性に乏しく合成試剤としての利用には制限が多い。そこで 2 級アミンを付加させた骨格をニトロ基とアミノ基を有する C2 ユニットの等価体と位置づけ、二官能化合物の合成を行った。

アミン付加体を加熱したところ *cis* 型のニトロエナミンが得られることを明らかにした。また、メチルビニルケトンやダニシェフスキーエンを作用させたところ、ニトロアニリンやニトロフェノールが得られ、Diels-Alder 型の反応が進行しアミン付加体がニトロエナミンの等価体として働くことを明らかにした。

